

# 特別賞

## 都市計画道路 小田原早川線街路整備事業（「青橋」架替え事業）

（表彰対象者：神奈川県小田原土木事務所）

### 表彰の理由

幾多の困難を克服し、交差する鉄道との構造上の整合、市民の意見を反映した沿道の環境や、小田原城の景観保全への配慮により都市の幹線道路を完成させた。

### 事業のあらまし

本路線は、小田原駅西口からJR東海道本線、箱根登山鉄道を跨ぎ、小田原城址西側に沿って国道1号に接続し、小田原漁港に至る幹線道路である。この事業は、小田原駅周辺の交通混雑解消と鉄道による地域分断解消を目的として、整備を行った。特に鉄道を跨ぐ青橋は、幅員狭小で歩道もなく、かつ、一方通行であつたため不便をきたしていた。これらを解消するために、平成元年度から架替えに着手し、平成4年10月に完成したものである。

- 延長：272m
- 幅員：15～41.9m
- 事業費：2,700百万円
- 事業実施期間：平成元年～平成4年



小田原城周辺の歴史的景観を配慮し、「小田原城」と調和し、引き立たせるデザインとなるよう工夫しました。



この橋は、大正14年に架設されて以来、今まで「青橋」として市民に親しまれてきた。



ライトアップされたお城を背景に灯ろう風の親柱や提灯風の照明灯が点灯し、夜間演出も工夫しています。



橋の中央部には、自然石をならべ、お城の石積みの重なりを表現した小庭園風の修景をしました。



小田原城の遺構である障子堀をデザインした歩道舗装としました。



### 事業遂行上の工夫

小田原城周辺は、天守閣に象徴される豊かな歴史と周辺の木々のみどりに恵まれてあり、周辺環境と調和し、歴史や自然と共に存する道路となるように努めた。特に「青橋」については、天守閣を望む適地であり、これと一体となった景観を形成するため、「小田原城」を引き立てるデザインとなるよう配慮した。